

旬な現場 ～若手技術者の紹介～

平成27年度 木曽川源緑地区地盤改良工事 (源緑河川防災ステーション整備工事(3期工事))

発注者:木曽川下流河川事務所
受注者:高田建設株式会社

高田建設株式会社 富山 朋泰(平成9年入社)



◆自己紹介

私は、地元の工業高校を卒業後、高田建設株式会社へ就職しました。入社したばかりの頃は右も左も分からず悩むこともありましたが、先輩方の指導の元、徐々に経験を重ね、入社4年目の時に初めて現場を任されました。その時は、不安もありましたが『やるぞ。』という気持ちのほうが強かったことを覚えています。それからさまざまな現場を経験し、現在は国土交通省発注工事に携わることが多くなり、今は源緑防災ステーション整備工事の2期・3期工事の現場代理人を務めています。

◆現場での役割

現場で働く作業員さんが安全かつ快適に仕事ができるような環境を整えたり、無事故で工事が完了するような工程調整や現場での問題点を解決するため発注者や協力業者との連絡調整を行っています。

より良い「もの作り」のため現場代理人・監理技術者が力を合わせて現場運営をしています。

◆工事概要

2期工事では、防災ステーションの盛土による隣接施設の引き込み沈下を抑制するため、深層混合処理工法を用いて応力遮断壁を構築する工事でありました。3期工事は、サンドドレーン工法と言って軟弱な地盤中に連続した砂杭を造成して圧密促進を図り地盤を強固にし地盤沈下を抑制する工事です。

